



白河二中だより

NO. 2
2022. 4. 11
白河市立白河第二中学校
発行責任者 小野 聡

伝統校！

3、2年生との出会いは6日の着任式でした。

式の始まりを整然と待つ姿、「一同、起立」の声と共にスッと立ち上がる姿、着任した教職員の話を聞く姿など、どれもがその場にふさわしい、素晴らしいものでした。

入学式の準備の際も、会場の作成や教室の飾り付けを丁寧に、隅々まで清掃する姿が見られ、「白河第二中学校」を、そして、新入生を大切に思う心が伝わってきました。(HPにも準備の様子を掲載しておりますので、是非、ご覧ください。)

さすが、伝統校の上級生達です。このように素敵な出会いを心から嬉しく思います。また、休み時間や部活動の時間なども、子どもたちは笑顔いっぱいです。あいつができた姿も白河二中の良さだと感じています。我々教職員も、笑顔で、そして、さらに指導力を磨き、子どもたちの成長を支援していきたいと思っています。



今回は、本日の朝会の話の一部を掲載します。(入学式でも同様の話をしています。)

私は、皆さんに、「白河第二中学校」はもちろん、白河市、福島県、日本、そして、世界へと目を向けることのできる人に育ってほしいと思っています。

福島県では昨日、新型コロナウイルスに何名が感染したか知っていますか？

昨日は530名の感染がありました。2週間以上も、前週の同じ曜日の人数を上回り、感染が収まらない状況が続いています。このような状況の中、自分はどのような行動をとるべきかを、自分で考え、自分で適切な判断をできる人であってほしいと思います。

また、世界に目を向けると、私は、今、ウクライナの情勢が一番気になります。

新聞やテレビによる報道を見るたびに、目を覆いたくなり、心が痛く、胸が締め付けられます。ウクライナの多くの方が、今までの自分の生活を失い、中には命を落としている人がいるという現実が、今、この時も続いているからです。

今、私たちにできることは、その現実をしっかりと受け止め、遠く離れた土地の苦しんでいる人たちへ思いを馳せることでしょうか。

そして、自分の周囲にも目を向け、万一、困っている人や苦しんでいる人がいたら、心を、手を差し伸べることのできる心優しい、思いやりのある人であってほしいと思います。

今、学校生活をスタートできたことに感謝し、一日一日を大切に生活していきましょう。

自転車も ルールを守る ドライバー 【スローガン】

春の交通安全運動が15日まで実施されます。白河二中においても、例年、4月は自転車による事故が多いと聞いています。新入生にとっては初めての通学路ですし、危険箇所をしっかりと確認し、安全な登下校をお願いします。

交通安全運動期間には本校教職員が街頭指導を実施していましたが、勤務状況等を鑑み、今年度から行わないことといたします。どうか、ご理解を頂きますようお願いいたします。

言葉を大切にしていきます

先日、本校教職員の言葉遣いにつきまして、福島県教育委員会に改善を求めるご意見が寄せられたとお聞きしました。不安な思いをさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。再度、教職員全員が気をつけて参ります。ご意見等ございましたらいつでも、校長へお寄せください。